

学会ニュースNo.130 トピックス

- ・ 2022年度（第77回）総会・研究発表大会（第76回）のご案内
- ・ 2022年度立正地理学会評議員会のお知らせ
- ・ 臨地研究会の開催を希望される方へ
- ・ 立正地理学会研究委員会の募集（新規）
- ・ 2021年度立正地理学会評議員会報告
- ・ 2021年度（第76回）立正地理学会総会報告
- ・ 2021年度（第75回）立正地理学会研究発表大会報告
- ・ 第51回講演会（熊谷例会）報告
- ・ 地理学教室だより
- ・ 今年度卒業予定の学生会員の皆様へ
- ・ 会費納入のお願い
- ・ ホームページ確認のお願い

◆ 会 告

● 2022年度総会（第77回）・研究発表大会（第76回）のご案内

2022年度（第77回）総会・研究発表大会を下記の要領にて開催いたします。

記

【2022年度（第77回）総会】

1. 日 時 : 2022年5月1日（水）を予定。
2. 実施方法 :
総会資料を一般会員には自宅に郵送したものを、学生会員はMicrosoft Teams上にアップロードされたものをご確認ください。その後、一般会員は返信用葉書、学生会員はFormsにて書面表決書を提出していただきます。
3. 回答期限 : 2022年5月25日（水）（総会日から2週間後程度を予定）

【2022年度（第76回）研究発表大会】

1. 日 時 : 2022年6月4日（土）10:00~16:30
2. 会 場 : 立正大学熊谷キャンパス アカデミックキューブ
（コロナ禍の収束を見据え、対面での実施を予定していますが、情勢によりオンライン同時双方向での実施に変更する場合があります。5月上旬を目安に実施方法を学会ホームページ上でお知らせします）
3. 懇 親 会 : 情勢に基づき判断するため、現時点では未定です。

4. 研究発表

1) 申し込み

発表希望者は、2022年4月18日（月）までに、学会ホームページの研究発表申込フォームからお申し込みください。研究発表申込フォームは、『[学会ホームページ](#) > [研究発表大会・総会](#) > [研究発表申込](#) > [研究発表申込フォーム](#)』もしくは下記QRコードより申し込みます。お申し込みの際は、以下の枠内の内容が必要です。非会員の方が発表者になることはできません。

- ① 発表者氏名（共同発表の場合は、発表者に○印をつけて下さい）
- ② 所 属
- ③ 発表題目
- ④ 発表形式（いずれかを選んでください）：「口頭発表」もしくは「ポスター発表」
- ⑤ 連絡先（氏名、電話番号、E-mail アドレス）



研究発表申込フォーム

2) 形 式

口頭発表とポスター発表があります。発表希望者にはいずれかを選択して申し込んでいただきます。実施方法は今後、学会ホームページ上で公開していきます。なお、口頭発表は、例年は発表時間15分、質疑応答5分の計20分で行っています。また、ポスターのサイズはA0縦（短辺841mm、長辺1189mm）サイズまでです。

3) 要 旨

発表者は要旨を必ず編集委員会にご提出ください。要旨は『地域研究』に掲載いたします。執筆要領は大会当日に編集委員会の受付で配付いたします。大会後、期日までにご提出ください。なお、発表要旨集は作成しません。

4) 配付資料

配付資料が必要な場合は、発表者が各自に必要な枚数を事前にご用意ください。配付資料のコピー・印刷等は受け付けておりません。なお、学内には有料のコピー機があります。

5. 地理写真

1) 申し込み

発表希望者は、2022年4月18日（月）までに、学会ホームページの地理写真申込フォームからお申し込みください。地理写真申込フォームは、『[学会ホームページ](#) > [研究発表大会・総会](#) > [研究発表申込](#) > [地理写真申込フォーム](#)』もしくは下記QRコードより申し込みます。お申し込みの際は、以下の枠内の内容が必要です。非会員の方が発表者になることはできません。なお、地理写真は研究発表ではありません。

- ① 氏 名
- ② 所 属
- ③ テ ー マ
- ④ 連絡先（氏名、電話番号、E-mail アドレス）



地理写真申込フォーム

2) 形 式

地理写真の台紙サイズは、A1縦（短辺594mm、長辺841mm）サイズまでです。大会当日に所定の場所へ掲示し、大会終了後は各自でお持ち帰りください。写真の大きさ・枚数・貼り方は自由です。写真には内容・場所・撮影日時などのキャプションを付記願います。

6. 研究発表大会プログラム・会場案内について

学会ホームページ (<https://www.rismap.website/>) に随時掲載いたします。会員の皆様は、学会ホームページの随時確認をお願いいたします。

7. 展示について

例年、書籍販売などが行われていますが、2022年度は未定です。

8. やむを得ない理由によって開催が困難な場合の対応

地震や台風またはその他のやむを得ない理由によって大会の開催が困難な場合は、学会ホームページでお知らせいたします。

● 2022年度立正地理学会評議員会のお知らせ

2022年度立正地理学会評議員会を下記の要領にて開催いたします。

記

1. 日 時：2022年4月27日（水）18:00より
2. 方 式：Zoomを使用したオンライン会議
評議員には、ミーティングIDとパスコードを会議前にメールでお知らせします。
3. 議 題：1. 2021年度事業報告の件
2. 2021年度決算報告の件
3. 2022年度事業計画案の件
4. 2022年度予算案の件
5. その他（他に議題のある評議員の方は、集会委員会までメールにてお知らせ下さい。）

● 臨地研究会の開催を希望される方へ

2022年度に臨地研究会の開催を希望される方は、以下の要領で実施案を作成し、2022年4月18日（月）までに学会ホームページの臨地研究会開催申込フォームからお申し込みください。臨地研究会開催申込フォームは、『学会ホームページ > 臨地研究会 > 開催を希望される方へ』もしくは下記QRコードより申し込めます。合同委員会等で協議し実施の可否を決定いたします。

なお、臨地研究会は日曜日または祝日に開催してください。貸切バス利用の場合は学会から5万円、徒歩の場合は2万5千円が最大で補助されます。お申込み多数の場合、またはお申込みの内容によってはご希望に添えない場合もありますのでお含みおきください。

1. 趣 旨
2. 日 時：20〇〇年〇月〇日（〇）開始時刻～終了予定時刻
3. 集合場所：〇〇線「〇〇駅」改札口 〇〇に集合
4. テ ー マ：「〇〇〇」
5. 案 内 者：〇氏名〇、〇氏名〇、〇氏名〇
6. 参 加 費：〇〇円
7. コ ー ス：〇〇→〇〇→〈昼食〉→〇〇→〇〇解散
*昼食は〇〇
8. 募集定員：〇名
9. 連 絡 先：参加を希望する会員が連絡するための氏名とE-mailアドレス



開催申込フォーム

● 立正地理学会研究委員会の募集（新規）

2022年度の研究委員会を募集します。希望者は下記に示した「立正地理学会研究委員会に関する内規」を熟読の上、内規5の内容を明記した申請書（立正地理学会ホームページに様式を掲載）を、副常任委員長宛に郵送（住所等は最終ページに記載）、またはメール（アドレス：geosoc@ris.ac.jp、件名：立正地理学会研究委員会応募）で提出して下さい。2022年4月18日（月）を締切日と致します。応募件数が多い場合は調整することがあります。

立正地理学会研究委員会に関する内規

1. 研究委員会の設置：立正地理学会に、研究委員会をおくことができる。
2. 目的：研究委員会は、地理学の研究・教育に資する成果を挙げることを目的とし、その調査・研究に対して、学会より研究費を補助する。
3. 研究委員会の所轄：研究委員会の募集・決定・審査・成果の開示等に関する一連の管轄は、副常任委員長が行う。
4. 研究委員会の募集：副常任委員長は前年度の秋に発行される学会ニュースにおいて、研究委員会の募集、書類の提出期限について告知する。同内容は学会ウェブサイト上でも告知する。なお、書類の提出期限は、当該年度初めとし、前年度末に発行される学会ニュースでも再度募集の告知をする。
5. 研究委員会の設立：研究委員会の設置を希望する会員は、研究委員会の代表者となり、研究テーマ、会員名、研究委員会成立後の追加募集人員、研究期間、研究の目的、予測される成果を明記し、決められた期限までに副常任委員長に提出する。なお、研究委員会は設立時に3名以上で組織する。また、学生会員も代表となることができるが、研究委員会には1名以上の一般会員を含むものとする。
6. 研究委員会の成立：副常任委員長は、申請内容に基づき研究委員会の成立の可否を常任委員とともに検討し、その結果を代表者に伝える。
7. 研究委員会成立の説明と委員の追加募集：副常任委員長は、成立した研究委員会の代表者名、研究テーマ、研究期間、追加募集人員等を当該年度の総会で説明し、学会ニュース、学会ウェブサイトに掲載する。また、研究代表者は必要に応じて学会ニュース、学会ウェブサイト上で委員を追加募集する。なお、研究委員会は広く会員に開かれたものであることが望ましい。
8. 研究委員会の発足：成立をみた研究委員会は、代表者が中心となって活動を行う。
9. 研究委員会の年限：研究委員会の活動期間は2年とする。ただし、その後1年間の延長を可とする。その場合、研究委員会の代表者は研究の中間報告書と延長する理由書を、副常任委員長に提出しなければならない。
10. 研究費：研究費は、1研究委員会に対して年額10万円を上限とする。予算は研究委員会の成立と同時に執行ができる。
11. 会計報告：会計年度は、立正地理学会の会計年度に準じる。毎年度末に当該年度の収支報告書に領収書を添えて、副常任委員長に提出しなければならない。
12. 研究委員会の終了：研究委員会の終了時には、終了報告書を副常任委員長に提出しなければならない。
13. 成果の公表：研究委員会の活動中にあつては、立正地理学会研究発表大会において、中間報告を行うこと。なお、研究委員会終了後は、口頭発表のほか、『地域研究』にその成果を投稿するものとする。
14. 内規の改廃：本内規は常任委員長または副常任委員長が発議し、評議員会の議を経て行うものとする。

（副常任委員長 片柳 勉）

◆ 2021 年度立正地理学会評議員会報告

2021年6月1日（金）18時より、Zoomを使用したオンライン開催にて、出席者19名、委任状提出者14名、計33名にて開催された。議事では、2020年度事業報告が島津常任委員長よりなされた。次に、2020年度決算報告が山田庶務会計委員長よりなされ、いずれの事項も承認された。引き続き、2021年度事業計画案・予算案が提出され、いずれの事項も承認された。さらに、2020・21年度役員案ならびに2021年度委員案が提出され、いずれも承認された。

◆ 2021 年度（第76回）立正地理学会総会報告

2021年度の立正地理学会総会は、新型コロナウイルス感染状況に改善がみられないため、6月23日（水）に書面決議方式にて実施された。同日公開で7月16日（金）を回答期限とした。総会資料では、2020年度事業報告、決算報告、会計監査報告、2021年度事業計画案・予算案、2020・21年度役員案、2021年度委員案に関する議案説明があり、学生会員はSharepointで資料を閲覧し、Formsにて決を採り、一般会員には資料と返信用ハガキを郵送して決を採った。その結果、最終有効回答数は185名であり、本総会が成立したことを確認した。そして、全議題が承認された。

◆ 2021 年度（第75回）立正地理学会研究発表大会報告

1. 2021 年度 第75回立正地理学会研究発表大会の概要

日 時：2021年10月16日（土）9:40より

開催方式：Zoomでのオンライン開催

2. 田中啓爾記念地理学奨励賞

かねてより河川碎屑物の研究をされてきた宇津川喬子会員「河川碎屑物の生産-運搬過程における破砕・摩耗作用の特徴-砂礫の岩種、粒径および円磨度の関係(堆積学研究, 78, 15-31)」が、その業績を評価され、立正地理学振興会より田中啓爾記念地理学奨励賞を授与されました。

3. 優秀卒業研究賞

2020年度卒業研究のなかから、特に優れた研究を行った小林知寛さん「埼玉県東松山市東平地区における梨を活用した観光農業の取り組みと課題」と石田彩貴さん「熊谷市南東部荒川右岸における水屋・水塚の分布と利用状況」が、立正地理学振興会より優秀卒業研究賞を授与されました。受賞者の卒業研究の詳細は、学会ニュース No. 129「地理学だより：2020年度卒業研究発表大会報告」において掲載しております。

4. 会長講演

本年は吉本勇会長の会長講演が開催され、演題は「街の変化を読む」であった。講演内容は、吉本会長の生まれ育った徳島市東新町を始めとする各地の中心商店街や駅前エリアが、人・企業・立地などの影響を受けてどのように発展、衰退したかについてであった。多様な写真や図表を示しながら、長年にわたる貴重な調査結果を拝聴する機会を得ることができた。

（上田研太郎会員）

会長講演は、立正地理学会ホームページ内「**会員専用サイト**」にて引き続き公開を行っております。『**学会ホームページ** > **会員専用サイト**』よりぜひご覧ください。



公開している会長講演動画のスクリーンショット

5. 第75回立正地理学会研究発表大会取材レポート

今回の大会で発表された研究の一部を紹介します。

亀井啓一郎（立正大・非）：学生に聞いた好きな地図記号

地図記号は地図上で事物や現象を表現するために用いられる視覚記号とされている。対象物そのものを表現したものやイメージしたもの、文字を図案化したものなど、デザインとしてみると様々なものが存在する。発表者は、地図に親しみを持つものが魅力的に感じる地図記号とは何かを明らかとした。

河野 忠・渡来 靖（立正大）：山形県朝日町「浮島大沼」における浮島現象の解明

奈良時代に発見された浮島大沼には、湖岸から離脱した浮島が自由に動くといわれており、この原因を考察した。発表者は5つの仮説を立て、観測を基に検証を行ったところ、仮説とは全く異なる観測結果が明らかとなり、浮島現象はまさに偶然の産物と言えるものであることが明らかとなった。

◆ 第51回講演会（熊谷例会）報告

2021年6月1日（火）、Zoomを使用したオンライン講義にて第51回講演会が、立正地理学会 2021年度熊谷例会シンポジウムとして開催された。演者は神戸大学助教の原将也会員、演題は「アフリカ農村で豊かさと地域開発について考える」であった。講演内容は原将也会員の調査報告を交えたアフリカ・ザンビアの実情についてであった。アフリカの農村における人々の生活と環境について、知識を深めることができた。

当日の講演は、学修の基礎Ⅰの講義として共催された。講演後には参加者からの質問が多くあり、とても実りある講演会であった。参加者にとって収穫の多い講演をしてくださった原将也会員にこの場を借りて心より御礼申し上げます。

（佐藤寛輝会員）

☆ 地理学教室だより ☆

□ 新任の先生よりご挨拶

立正大学地理学科では2021年度から1名の新しい先生をお迎えいたしました。今回の地理学教室だよりでは、新しく着任された深瀬浩三先生からのご挨拶を掲載いたします。

○深瀬 浩三 先生

2021年4月より、地理学科の特任准教授に着任しました深瀬浩三と申します。学部は、立正大学地球環境科学部の2期生(1999年入学)として地理学科で学びました。その後、東京学芸大学大学院に進学して、博士後期課程の院生時代は、地理学の研究と同時に、中学校や高等学校、大学で非常勤講師や特任講師をしておりました。2012年4月から2021年3月までは、鹿児島大学教育学部で人文地理学の教育・研究に取り組んできました。



私の専門は農業地理学と地理教育です。学部から大学院にかけて、埼玉県を中心に東京大都市圏外縁部における農産物産地の生産・流通システムの再編に関する研究をしました。現在では、農業地理学といっても、伝統的な産地研究から、卸売市場や食品関連企業、生協、農産物直売所なども対象に、食と農の生産・加工・流通・消費に関わるフードシステム研究まで幅広く調査・研究を続けています。また、地理教育で役立つ教材づくりとその実践にも取り組んでおります。

学生さんには、授業で地理学の専門的な知識と技能をしっかり身につけてもらうのはもちろんのことですが、授業以外でも積極的に色々なところへ訪れて、視野を広げてもらいたいです。授業も試行錯誤しながら、地理学に興味関心を持ってもらえるようにがんばりますので、よろしくお願い申し上げます。

◆ 今年度卒業予定の学生会員の皆様へ

この3月で卒業される学部4年生・院生の会員の方々には、来年度以降も会員として継続されることをお薦め致します。引き続き立正地理学会会員として、学会活動にご参加下さい。学会ニュースやホームページなどで、学会活動の他、地理学教室の情報などを提供していきます。研究発表大会は、友人との再開の場としても良いでしょう。会員継続をぜひご検討下さい。

継続される方は、卒業証書授与式で配布する継続届を記入の上、『地域研究』『学会ニュース』に同封する払込取扱票にて5月末日までに会費をご納入下さい。他大学や大学院などに進学される方は学生会員(年会費2,500円)、それ以外の方は一般会員(年会費4,000円)となります。

なお、継続をしない場合でも、卒業証書授与式で配布する継続届に、4月以降に郵便物が受け取れる住所をご記入のうえ、提出してください。2021年度発行の印刷物を発送する場合があります。

◆ 会費納入のお願い

2021年度分の会費が未納の方には、今回の学会ニュースに「会費納入状況のお知らせ」と「払込取扱票」を同封しておりますので、ご納入下さい。また、過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

- 会費：一般会員 4,000円 / 学生会員 2,500円
- 郵便振替口座：00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下の通りです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッシュウチリガクカイ

- ※ 学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際は、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。
- ※ 今年度をもって退会を希望される方は、3月末日までにご連絡下さい。ご連絡がない場合は、自動的に次年度継続として、会費の請求を行わせて頂きます。

(庶務会計委員会)

◆ ホームページ確認のお願い

立正地理学会では、2019年のホームページリニューアルより、ウェブ上での情報発信により一層の力を入れております。重要なお知らせや緊急のご案内等、学会ニュースではご案内できない速報性のある情報もご案内しておりますので、会員の皆様におかれましては学会ホームページのご確認をお願いいたします。

(広報委員会)

編集後記

三寒四温の時節柄、春の訪れが日々感じられる今日この頃です。新型コロナウイルスの影響から様々な行事が中止・延期・オンライン化される中で、会員の皆様には本会の運営にご協力いただき、心より御礼申し上げます。春は別れの季節であると同時に、出会いの季節でもあります。もうすぐ始まる新年度に心機一転、春風とともに幸せが訪れますようお祈りいたします。

(広報委員 岩谷恭弥)

立正地理学会ニュース No.130

2022年3月18日発行

編集者 立正地理学会広報委員会

発行者 立正地理学会 〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内

TEL 048-539-1672 E-mail geosoc@ris.ac.jp

Web <https://www.rismap.website/> 振替 00130-8-13453



立正地理学会ホームページ